

外国人介護福祉士候補者の 【国試対策情報】

月報 第5号

今年1月4日、読売新聞朝刊「総合2面」で、下記の報道がありました。

135 総合 2

インドネシア看護師 日本就職低調

言葉の壁半数以上が帰国

【ジャカルタ＝藤田直樹】日本インドネシアの経済連携協定（EPA）に基づき、2008年に「看護技術者」の第1陣として来日したインドネシア人看護師14人のうち、半数以上が日本での就職を事実上断念していることが関係者の話でわかった。（関係記事見開き）

EPAをきっかけ、日本で働く希望する外国人は増加している。3年間の日本での就職を目標と断念し、帰国した看護士候補者も少なくない。

（年1回実施）に合格する。第1陣が来日した当初、このためだが、日本語の国家試験を通過して、「帰国」し、日本に「戻す」といった日本人にも難しい漢字の判読などの改善を図った。来日した看護士たちは、

試験で一定の点数を取れば、残留を希望した者には特別措置で滞在延長が認められており、2月に改めて国家試験に臨む。

残る6人は、受験資格を保持したまま、11年8月まで帰国したが、このうち再来日して2月の試験を受けるのは4人だけという。

言葉の壁半数以上が帰国

看護士受け入れ決定は受入の病院で患者の身の回りなどから国家試験受験が合格できずに帰国しても、リビンの間で実施している。

日本では「看護士」として母国で働くことも知らず、配属や入居介助などのための

●EPAで来日したインドネシア人看護士

来日した年	総数	国家試験合格	滞在延長	帰国
2008年	104	15	27	中63
2009年	173	2		少なくとも4
2010年	39	0		
2011年	47（今年初受験）			

※合格したのが15人、1人を含む。単位は人

● 記事内容は「インドネシア人看護師」の国家試験ならびに合格に関してです。

● 最大の問題は【日本語の壁】で、日本語教育の重要性和必要性が、今回の調査でより鮮明になり、我が国の「外国人看護師と介護士政策」に関する問題点が、社会的に、そして具体的に指摘されています。

● 介護士分野においても国家試験の結果は、

本月報で再三、再四に渡って諸問題を指摘してきましたが、受け入れ施設は、残念ながら国家試験対策問題に終始して、【言語能力を養う】ことを軽視しているために、読売新聞の報道と同様な結果を生み出すことは、ほぼ確実視されています。

● 第二陣、三陣と続く外国人介護士候補者が、同様な結果にならないようにするためには、関係者の日本語教育に対する見方を早急に再認識して、改善することを必要に迫られています。それは、「国家試験受験能力を養う」ための【言語能力を養う】ことが、最も「重要で、基本的な教育方針」であることを、関係者が認識して、取り組まなければならないことです。

● 受け入れ時から三年間の期間内において、【国家試験合格のための教育計画】を年度単位で作製して、当初の二年間は「国家試験受験能力を養う」期間と定め、最後の一年間を「国家試験合格能力を養う」とし、外国人介護士候補生にも当初からの「三年間計画」を認識させて、日本語学習を継続的に進めていく【学習意欲継続の意識】を持たせることが、国家試験に合格する道であることは、客観的に見て当たり前の事実です。

< 施設の声 >

- その1、**1回4Hで、月3回の勉強をしている。国家試験とのレベル差については、日本人でも落ちている人がいるので、はたして外国人でどれだけ合格できるのか分からないと感じている。この月報で知ったのだが、「国家試験受験能力」と「試験合格」は明らかに違うことが、候補生を見てようやく分かってきた。でも、今までの指導の仕方を反省しても、もう間に合わない。（栃木県・B施設）
- その2、**候補生にとって、教師会が実施している日本語能力試験は受け入れやすいようで、日本語は教師会の試験と考察表に基づいてボランティアの先生と一緒に日々、日本語学習をしている。モチベーションも下がらずそのまま維持できている。日本語に対して、瞬時に反応する能力を上げることと、読解の力をより身に着けていくことが重要なことだと今回の教師会の試験結果でわかった。施設内では、そろそろ国家試験の問題などを解かせる対策も考えていたところだったが、過去問題を解かすことはまだ早いということだったので、考察表のアドバイス通り、教師会のテキストを音読して読解力を高められるように努めていきたい。（静岡県・K施設）
- その3、**候補生を受け入れて、すでに二年間が経っている。候補生に接しているが、日常的に職場での意志疎通はある程度できるようになってきた。しかし、日本語で記録や報告書を書かせるとはっきり言って、とても読めるような内容ではない。このことを考えると、国家試験を受けても問題文が全然分からないと感じている。国家試験に対しては、事業団の教材などを使っているが、勉強している時には分かったような顔をしていて、それ以外で話をしてみると全然分かっていないことがよくある。本当に事業団の指導を信じていたのに、こんな状態で良いのか心配している。（愛知県・S施設）
- その4、**仕事に支障がある点は、夜勤に入れないこと。国家試験のレベル差は文章の読解が難しいことと、日常使わない単語が出るとそこでとまってしまい、理解ができていない。国家試験問題は日常使用している言葉とかけ離れている部分があるので、そこが一番苦戦している。（茨城県・H施設）
- その5、**事業団のテキストを中心に施設職員が週5日、1時間ずつ学習指導をしている。「制度や法律」関係がとても難しく、しっかりと理解させることが難しい。説明をすることが難しいので、暗記させるように対応しているが、この状態で受験できるのか悩んでいる。（和歌山県・F施設）
- その6、**日本語がまだ未熟なため、介護学習では特に「法律用語と保健制度」に関連する漢字が読めないし、その言葉の意味が理解できない。日本語も職員が指導をしているが、指導の仕方が難しく困っている。事業団のテキストを使っているが、漢字や言葉の意味が難しく理解できない。そして、長い文になると、文の意味が理解できていない状態が続いている。しかし、本人は意外と明るい顔で毎日を過ごしているので、不思議だと感じている。（熊本県・R施設）
- その7、**通信教育など色々と勉強方法を試してみたが、外部の先生との勉強は緊張してしまうと、候補生が言うので、職員と一緒に週5日2時間ずつ学習している。国家試験の介護保健制度問題などを今、中心に覚えさせているが、本当に力がつくのか疑問だ。（宮城県・A施設）
- その8、**国家試験の問題にはついていけない。しかし、介護技術の問題なら理解も早く、仕事との兼ね合いでスムーズに進めることができるが、保健制度については翻訳されているものでも理解できない点が多く、丸暗記しかできない。また、それを覚えても候補生にとってはメリットがない気持ちがあり、理解に苦しむようだ。母国語で書かれている過去問題を解かせると、やはりできは良いが、それでは国家試験対策として意味を成していないので、頭を抱えている。（和歌山県・W施設）
- その9、**教師会の日本語能力試験を受け続けることで、「長い文」で話せる会話力と書く力が順調に身についているし、候補生のモチベーションも良い状態で、問題点や心配していることは特にない。日本語の勉強は能力試験の結果考察に従って、施設内で日々取り組んでいる。（滋賀県・Q施設）

【試してみよう！ 国家試験問題】 第一回目

★ 「一問一分間合計 6 分間テスト」 ※テスト後は当会に FAX でご返信下さい。<03-6677-0632>

外国人介護福祉士対象日本語能力試験（レベル1）

施設名：
学習者名：
メールアドレス：

1. 漢字の読み方と言葉の説明について答えなさい。

1. 1) 「体位変換」の読み方をカタカナ文字で（ ）に書きなさい。 (体位変換) 1

2) 「体位変換」とはどんなことですか。 次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 体の状態をみること。
- ② 体の位置を変えること。
- ③ 病気がなおること。
- ④ 部屋を変えること。

2

3) 「自力で体位変換ができない利用者の介助に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。」

- ① 痛みがあるので体位変換は行わない。
- ② 目を閉じているので、声をかけずに体位変換を行う。
- ③ 身体とマットレスの間のできる空間はそのままにする。
- ④ 今の状態が楽だと言うので、4 時間後に体位を変える。
- ⑤ 利用者が心地よいと感じる体位にする。

3

2. 1) 「立位」の読み方をカタカナ文字で（ ）に書きなさい。 (立位) 4

2) 「立位」とはどんなことですか。 次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 寝ている姿勢のこと。
- ② 座っている姿勢のこと。
- ③ 立っている姿勢のこと。
- ④ 歩いている時の姿勢のこと。

5

3) 「右片麻痺の利用者が、ベッドの端に横たっている状態から立位になるときの介助方法に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。」

- ① ベッドに深く懸かけよう促す。
- ② 両足は膝より前に出すよう促す。
- ③ 利用者の右側に立つ。
- ④ 足を反らせるよう促す。
- ⑤ 利用者の右大腿部に手を当て、立ち上がるのを補助する。

6

★★ 解答用紙は当会が採点して、この問題の範囲で介護士候補生の現在の【言語能力】を考察し、その結果を施設にメールでご返答致します。

教材が教育の質を決定する！！

※ 教材の選択は、「学習者の日本語力にあったもの」を選ぶことは当然のこと。そして、教材の編集の仕方が、必ず「易しいものから難しいものへ」と作られていること。これらのことが、学習効果に与える重要な要素となり、教材の質を表していることを認識しなければならない。また、前後の文章の関係が必ずあり、文脈が通じていない限り、学習の結果を生み出す要素が減少してしまうこととなるので、この点についても十分に認識して選択する必要がある。

【教材の選択基準】

- 1、学習者の日本語力の査定（レベルチェック）の結果、学習段階にあった教材の選定。
- 2、目次の確認をし、全体的な文章の文脈が有るか無いかの認定。
- 3、日本語の漢字に対する表記方法を確認し、できるだけ振り仮名の無い教材の選定。
- 4、日本語に対する翻訳文が有るか無いかの確認をし、翻訳文の有るものについては極力避けて、日本文だけの教材を選定 【日本語を日本語だけで学ぶ】立場に立つことにより、学習者の頭の中では、日本語を日本語で考える思考性を作り、正しい日本語の習得をさせるために必要。
- 5、テキストの巻末に「語彙帳」と「使用文型表」が有るか無いかを確認して、特に、語彙帳には対訳した語彙が無いものを選び、「暗記による学習を避ける」ための教材の選定。
- 6、使用文型表が有るものには、例文が有るか無いかを確認して、有るものを選び、「自分自身で外国語を学んでいく力【自学能力】を養える」ものを選定。
(基準を厳守し選択することが大切)

レベルチェックの必要性

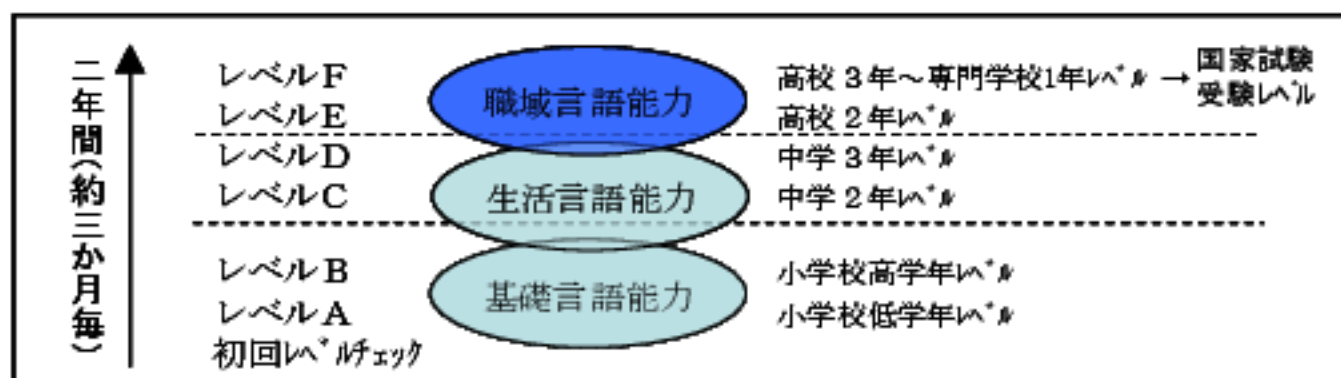
当会では、外国人介護士候補者のために【言語能力】を段階的にチェックする（A～Dレベル）と、【国家試験受験能力】を認める（E・Fレベル）を実施しています。

※ 受験者には試験結果に基づき、考察表（言語能力到達度）にあわせて、学習アドバイスをしていますので、現在依頼している日本語教師任せにせず、施設担当者が、客観的な「考察表評価」に基づいて現状を把握することが、日語能力を伸ばすために重要です。

※ そのためには、**3ヶ月単位で日本語力をチェックすることが大切です！**

常に、貴施設で働く外国人の日本語能力の変化を、客観的な数値で評価できる定期テストを重要視しましょう。その理由は、**国家試験受験能力は、試験問題が理解できる能力（読解力）をいい、合格能力は試験問題に対し、正しく答えられる能力（知識力）をいいます。**

※ 今後、貴施設の安定した運営のためにも、ぜひ定期テストを受けることをおすすめします。すでに、多くの施設ではその効果がでて安心したという声も増えてきています。



よりよい教育効果を上げるために！！

- ★★★ 40年間の日本語教育実績がある【日本語教育教材】を、当会では、長年に渡り使用して、大きな教育効果を上げております。また、この教材は【日本語を日本語で学ぶ】ことができるもので、学習者が自宅学習を積極的にできるような作り方となっており、決められた学習時間以外でも、独学で学べるのが最大の特徴です。自信を持って当会が使用している教材を推薦致します。なお、この教材は、一般書店では入手困難な書籍であるために、これを機会に是非、ご購入下さい。
- ★★ ご購入頂いた皆様方には、具体的な教材の指導書を同封しておりますので、指導経験が無い方でも、安心してお使い頂けます。指導書に従い教育することで、学習者の反応が見違えるように変化しますので、教育効果が高まることは間違いありません。ご質問等があれば、お気軽にお問合せ下さい。

日本語教材申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>

施設名： _____ ご担当者名： _____

所在地： 〒 _____

電話： _____ F A X： _____

メールアドレス： _____

※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。

100万人の日本語No.1（ ） ひらがなかーど（ ） 漢字の一と1（ ）

100万人の日本語No.2（ ） ひらがなの一と（ ） 漢字の一と2（ ）

100万人の日本語No.3（ ） カタカナノート（ ）

※ お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。

全国日本語教師会 事務局 〒167-0022 杉並区下井草4-13-6-202

電話：03-6317-6009 F A X：03-6677-0632 メール：nihongokyoushikai@gmail.com

日本語能力別試験申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>

施設名： _____ ご担当者名： _____

所在地： 〒 _____

電話： _____ F A X： _____

メールアドレス： _____

受験者名： _____ 国名： _____ 受験人数： _____ 名

<単発受験> ※ ご希望の受験形態に□「レ点」を記入願います。下記の料金は受験者1名あたりの金額です。

□ 各受験段階で1回あたり @9,450円× _____ 名 合計金額 _____ 円

<継続受験>

□ 受験段階初回からの場合 @7,350×10回=73,500円× _____ 名 合計金額 _____ 円

□ 受験段階Aからの場合 @7,350×9回=66,150円× _____ 名 合計金額 _____ 円

□ 受験段階Bからの場合 @7,350×8回=58,800円× _____ 名 合計金額 _____ 円

※ この試験は国家試験受験能力を養うために実施しますので、約三年間分の受験料金となります。

★ 試験サンプルもあり、内容については詳しくお話できますので、03-6317-6009 までお問合せ下さい。

